

報告事項ウ

第4回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

第4回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成28年2月8日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

第4回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

平成28年2月4日
博 物 館

- 1 日 時 平成28年1月29日(金)午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 鳥取県庁第2庁舎 22会議室
- 3 議 題
 - ・基本認識とコンセプトに関するコピーについて
 - ・施設設備について
 - ・立地条件について
 - ・その他

4 主な意見

【コンセプト】

- ・美術館のあり方を県民と一緒に考えていくことが大切。「美術館プロジェクトを始めよう」といったキャッチフレーズがあって、「街が目覚める～」がサブタイトルのような形かどうか。県がコンセプトを作るのではなく「一緒に作ってみませんか」という姿勢をコンセプトで打ち出すべき。
- ・計画段階でのコピーは今後も変えていけばいい。そうしたコピーを県民皆で出していけばいい。そうして最終的に残ったものがきちんとした言葉に置き換わればいい。
- ・普段着で街中で子どもも年寄りも皆と一緒に利用するような在り方が良い。「地域が元気になる。住民が元気になる。世界中から来てくれる。そして感動して帰る。」そんな場所となるべきだ。
- ・「子ども」、「教育」が鳥取のキーワードで最も大切。人を育てる場所としての役割を担うということが重要。街と一体化して、そこにいることが心地よい場所となるべき。
- ・県民がそこで学べる、学びを深められることを一番に挙げるべきである。2番目が県外の人に来て楽しむ、観光ルートの中にあること。
- ・基本認識の内容には基本的に賛成。あえて言えば、鳥取らしさ、独自性を何かの形で表現することが残された課題である。

(⇒事務局コメント)

- ・基本認識について、「鳥取らしさ」を打ち出すといった趣旨を付加する修正を加える。また、「県民と連携したコンセプトづくり」を進めることを明記する。コピーについては、次回改めて議論していただく。

【施設設備】

- ・全体経費の関係で必要な施設設備のどれかを削除しなければならなくなるのがよくあるが、必要なコア機能はきちんと作るべき。
- ・修復室、撮影室などはよく小さくしましょうとなるが、県内には自前で対応できない施設も多い。県内の他施設をフォローするための必要性なども考慮すべき。
- ・最低限必要なコアな部分と他施設との連携で補える部分は分けて考えるべき。展示機能については、古民家の活用や民間への貸出しで対応し、県民と一緒に企画展を開催することを考えてもいいと思う。

【立地条件】

- ・県民にとって何が公平なのかきちんと整理すべき。
- ・美術館のアウトリーチ、サテライト等も含めて全県で考えていくことが必要。どこに建設しても美術館の活動は全県を意識しながら運営すべき。
- ・建設の前提はコア施設1箇所のみと思われるが、サテライト機能を持たせることも考えてみてはどうか。(⇒市町村立施設との機能分担も想定している。)
- ・各条件では、現状だけでなく将来的な計画や見込みも含め、広い視野で考えるべき。
- ・点数評価がないと合議制だけでは評価が難しいのではないか。
(⇒専門委員の考え方にもよるが、点数で切ってしまうのではなく、多角的な議論により様々な意見を集約して合意形成する方向で進めてほしいと考えている。)

5 今後の対応

各市町村に立地条件に適した建設候補地の推薦を依頼するとともに、当該条件に係る県内事情等に精通した方を鳥取県立美術館候補地評価等専門委員に委嘱し、現地調査の上、推薦された各候補地の条件適合性を評価して貰う。(2月～4月)

その間に、次回の検討委員会を開催し(3月下旬頃)、運営手法、来館者予測、運営費見込等について検討していただく。

鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会

NO	審議会等	役職	氏名	役職等	期待される役割
1	一般社団法人鳥取県バス協会	専務理事	宇山 繁人	(協会職員)	交通アクセスに関し、交通事業者の視点による専門的な評価を期待
2	鳥取県ハイヤータクシー協会	会長	船越 克之	つばめタクシー株式会社代表取締役	交通アクセスに関し、交通事業者の視点による専門的な評価を期待
3	鳥取県福祉のまちづくり推進協議会	会長	佐分利 晋代	元鳥取大学地域学部教授	交通アクセスに関し、障がい者、高齢者など交通弱者の視点による評価を期待
4	鳥取県消費生活審議会	会長代理	川井 克一	弁護士	買物客の誘導に関し、消費生活に関わってきた立場から客観的な評価を期待
5	公益社団法人鳥取県観光連盟	会長	中島 守	湯梨浜町観光協会長	観光客の誘導に関し、観光誘客に携わってきた立場から観光実態に即した評価を期待
6	鳥取県文化芸術振興審議会		野田 邦弘	鳥取大学地域学部地域文化学科教授	文化施設との連携や文化による地域づくりに関し、専門的識見に基づく評価を期待
7	鳥取県都市計画審議会	会長	谷本 圭志	鳥取大学大学院工学研究科教授	地域づくりへの貢献に関し、都市計画、地域政策の専門家としての評価を期待
8	県政顧問(文化芸術関係)		前田 昭博	国重要無形文化財「白磁」保持者(人間国宝)	文化による地域づくりに関し、芸術家としての立場からの評価を期待
9	一般社団法人鳥取県建築士会	副会長	重見 泰勇	有限会社エイ・エイ・エム設計研究室	施設整備の可能性に関し、建築面から見た専門的な評価を期待
10	鳥取県財産評価審議会	会長	萩野 光昭	株式会社宏英不動産鑑定事務所代表取締役	施設整備の可能性に関し、普遍的な不動産評価の考え方に即した客観的な評価を期待
11	鳥取県地震防災調査研究委員会	会長	香川 敬生	鳥取大学大学院工学研究科教授	防災上の安全性に関し、地震防災の視点からの専門的な評価を期待
12	鳥取県河川委員会	会長	前野 詩朗	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授	防災上の安全性に関し、水害対策の視点からの専門的な評価を期待

(アドバイザー)

鳥取県美術館基本構想検討委員会	会長	林田 英樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官	評価は行われないが、専門委員の評価が検討委員会の定めた立地条件の趣旨に沿って出揃った趣旨に行われるよう、総合的な観点から助言、調整等を行うていただく。
-----------------	----	-------	-----------------	---

